



社会福祉法人

浜松いのちの電話

LINHA da VIDA HAMAMATSU

巻頭言 「コロナ禍で生活困窮者が
増えていることについて思うこと」

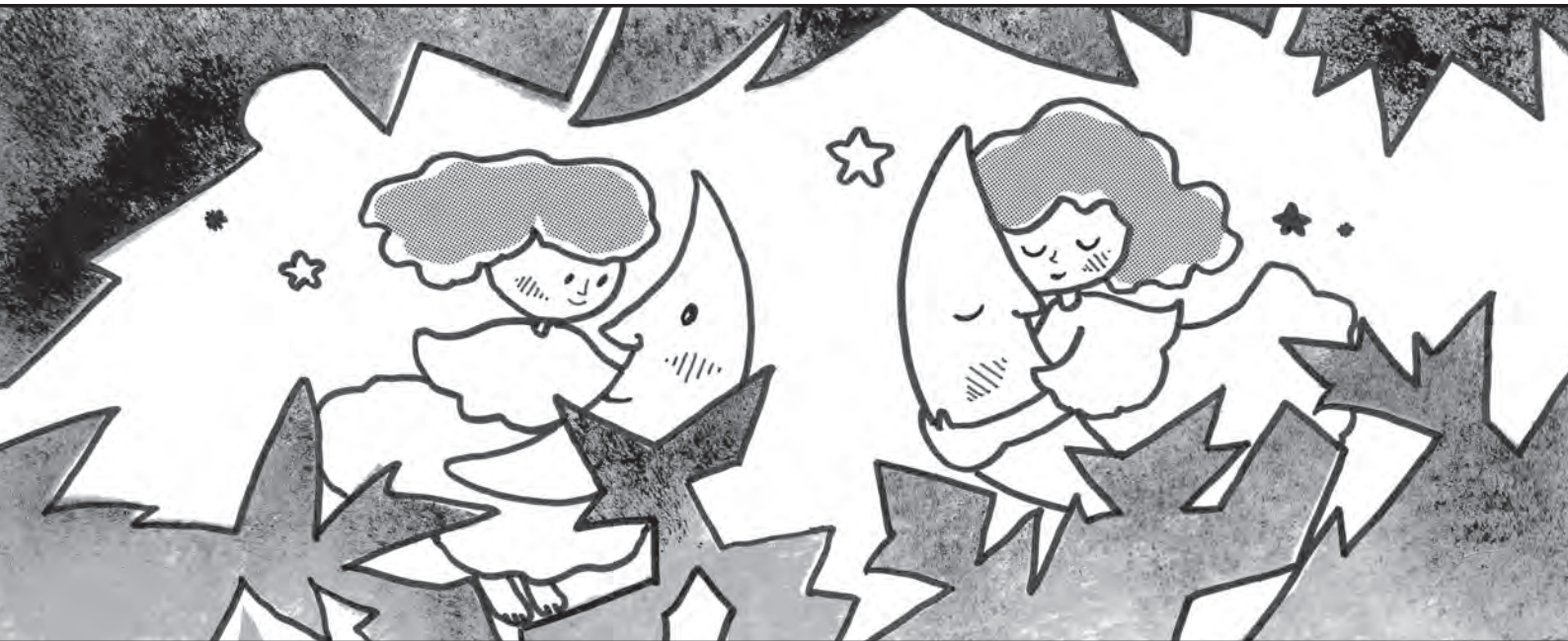
聖隷福祉事業団軽費老人ホームもくせいの里 施設長
浜松いのちの電話 評議員 長谷川清太

シリーズ 「心の裏にも耳を傾ける」

入野心理教育相談室 公認心理師 臨床心理士
浜松いのちの電話 研修委員 岡田 光夫

特集 「子供から繋ぐ～いのちの手紙～」

浜松市精神保健福祉センター
副所長 鈴木 多美
主任 小林 美穂



研修コラム 毎日フリーダイヤル

浜松いのちの電話 研修委員長 佐藤 和彦

いのちの電話は、通常の電話の他に、特別な相談窓口（フリーダイヤル）を持っています。東北大震災では、全国ネットで被災地の人々の相談を「震災ダイヤル」として受けました。そして今回の「コロナ禍」では、6月下旬から来年3月まで、全国ネットで「毎日フリーダイヤル」として相談を受けています。毎日フリーダイヤルでの相談では、目に見えないウイルスに振り回される不安やストレス、親密な接触を避けることが求められるつらさや孤独感を訴える相談などが全国から寄せられています。電話相談では、あたかも身近にいて耳元でお話をしている感じにもなります。この親密な関係の中で、不安や苦しさが、少しでも和らぎ、新たな一歩がふみ出せる機会になれるようにと、すべての相談員が心を寄せて電話をとっています。

今後ともいのちの電話をよろしくお願いいたします。



フリーダイヤル・自殺予防いのちの電話
0120-783-556 (なやみころ)

毎日 16:00～21:00
毎月10日 8:00～翌日8:00

ナビダイヤル (有 料)
0570-783-556 (なやみころ)

相談可能なセンターに順次おつながします。



コロナ禍で生活困窮者が 増えていることについて思うこと

聖隷福祉事業団 軽費老人ホーム
もくせいの里 施設長
浜松いのちの電話 評議員
長谷川 清太

平素、浜松いのちの電話にご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

浜松いのちの電話の評議員で、社会福祉法人聖隷福祉事業団軽費老人ホーム施設長の長谷川清太です。このたび、新型コロナウイルスの影響による生活困窮者の皆様の現状について報告をとのご依頼をいただきました。

聖隷福祉事業団では、浜松市から生活困窮者支援として、浜松市生活自立相談支援センター「つながり」を委託されています。

事業の内容は、「困っている状況」についてお話を伺い解決策を一緒に考えて関係する支援機関と連携して“伴走型”支援を行う“自立相談支援”、その方に合った仕事を紹介する“就労支援”、働く事に不安を感じる方に生活習慣を整えて社会参加や就労体験の支援を行う“就労準備支援”、失業等で住居確保が困難な方への支援もあります。

また、生活困窮はその当事者に止まらず、世代を超えて貧困の連鎖を生む可能性があります。これに対して学習支援として、幾つかの拠点“教室”を作って子供たちに勉強を教えています。これは、日本にとどまらず世界の貧困対策でも教育が最も有効な手段とされていますので、即効性はないかもしれませんが、非常に重要な支援だと思っています。

さて、頂いたテーマの“新型コロナウイルス禍”の生活困窮者に対する影響についてですが、“つながり”への相談件数は2019年度の総数を、今年の4月と5月の合計だけで超えています。

雇用状況は、非正規労働者の方から影響を受け、今は幅広い業種や雇用形態にも広がっています。

求人数は最近になって微増傾向にありますが厳しい状況は続いています。そのような中でも福祉業界は人材難です。どうやら、テレビなどで医療・福祉従事者の健闘が好意的に報道されたことが、逆に新型コロナウイルスの感染の可能性が高い職場とされているようです。

確かに、一部の医療機関や福祉施設でクラスターが発生しています。それぞれの職員は非常に神経質に、また熱心に対策に取り組んでいます。それでも、発生した施設に対しての一般の皆様からの誹謗中傷は凄まじいものがあつたと聞いています。

どうか、誰も理解と協力の下で、この困難を乗り越えたいと願っています。

しかし、健康面だけではなく、経済的・社会的影響が顕著になるのは、これからだと感じています。

いのちの電話に相談される方は、孤立した状況にある方が多く、生活困窮されている方と同様に複数の問題を抱えておられます。

相談員の皆様は、どうか一人で抱え込まずに、様々な社会的資源を遠慮なく活用されることを望んでいます。

自立相談支援・就労準備支援・小中学生のためのキャリア形成支援

浜松市生活自立相談支援センター「つながり」は、様々な要因で生活に困っている方からの相談に応じて、適切な関係機関・支援窓口へつなぐとともに、複合的な課題を抱える方に対しては支援計画を策定し、必要な関係機関と連携して課題解決に向けた寄り添い型支援を行う相談支援窓口です。

相談時間 月曜日～金曜日午前9時～午後5時30分
(祝日・年末年始は除く)

連絡先 電話番号：053-546-0500 ファクス：053-546-0600
(浜松ホームページより抜粋)



シリーズ「心の裏にも耳を傾ける」

10.「こころの裏」を児童文学から学ぶ

入野心理教育相談室 公認心理師・臨床心理士
浜松いのちの電話 研修委員
岡田 光夫



優れた文学作品は、私たちに心の深層を具体的にわかりやすく教えてくれます。特に、多くの人を感動させてきた作品には、そういう心の真実が幾つも含まれているものです。

推理小説やSF小説にも、人の心の機微は描かれていますし、それらを読むことでも、人の「こころの裏」を知っていくことにつながります。しかし、その中でもとりわけ児童文学は、社会的な雑事よりも、子どもの目を通してストレートに、傷つきや癒しについて描かれています。

児童文学の中から一つの例として、フィリパ・ピアスという人が書いた『トムは真夜中の庭で』(岩波少年文庫)を紹介させていただきます。

トムは両親と暮らす普通の少年でしたが、弟が麻疹になったために、夏休みにしぶしぶ家族から離されて、子どものいない叔母夫婦に預けられます。叔母夫婦が住んでいたのは、昔の大邸宅をいくつか区切ってアパートにしたもので、玄関ホールにある古時計が印象的でした。

その古時計が真夜中に13回鳴ったので、不思議に思って玄関ホールにいくと、昼間にはなかったはずの庭がそこに広がっています。真夜中にだけその広い「庭」=異次元空間が現われてくるのです。

その「庭」に現れる人たちにトムは見えないようでしたが、ハティという少女にだけは見えて話もできて、いろいろな話をしました。トムは毎晩行っていましたが、ハティの方では何か月も経っていたり、ときには順序が逆になっていたりしました。

夏休みが終わり、トムが両親の家に帰る寸前になってやっと、ハティが実はアパートの大家である老婆のバーソロミューさんだったことを知ります。バーソロミューさんも、時々夢に現れて寄り添ってくれていた空想の中の少年が実在していたということを知って驚きます。

バーソロミューさんは、いつも若いころの夢をみていましたが、トムがきていた夏休みに限っては何か毎晩のように「庭」の夢を見続け、この不思議な夢=異次元空間の「庭」がトムとバーソロミューさんをつなぐ通路になっていたのです。

誰かを求めていた孤独な少年と、昔を懐かしんでいた老婆の魂が共鳴しあって、二人ともがその後生きていく上で強い支えとなるような、意味のある体験を「庭」

でしていたのです。

帰る日にお互いが「庭」での体験を話し合い、再開を約束して別れます。トムという少年の心の中の孤独に寄り添うということが、両親にも叔母夫婦にもできなくて、トムは孤独を抱えたままでした。多くの大人は慌ただしく生きていたからです。バーソロミューさんだけが、ただ何もしないでそこにいて夢を見ていただけだったので、トムを受け入れることのできるゆとりをもっていたのです。

バーソロミューさんはトムに何の責任もありませんし、教育しようとか、しつけようとか、そういう気持ちもありませんでした。トムが癒されていったエッセンスの部分は読んでもらわないと、ここでそのすべては表現できませんが、バーソロミューさんにとってもトムとの触れ合いによって、ただ昔のことを懐かしんでいたというだけではなく、新たに少女として生き直すことができました。

フィリパ・ピアスはこの作品についての「作者のことば」の終わりに、「お婆さんは自分の中に子どもをもっていた。私たちはみんな、自分の中に子どもをもっているのだ」と書いています。少年と老婆という、いっけん接点なさそうな二人の魂が、時空を超えて触れ合うことでお互いがそれぞれ癒されているのです。

電話相談やカウンセリングもまったく同じで、経験を教えたり、助言をしたり、わかりやすく役に立ちたいと思って接すると、相手にとってはお仕着せがましく感じることもあります。絶望した人に、ただの正論は役に立ちません。

バーソロミューさんは、自分の夢の中に紛れ込んで来たトムを助けようとか、癒してあげようということは考えていませんでした。夢の中で少女に戻って、むしろトムに寄り添ってもらっていただけです。

電話相談のシュチエーションとは全然違っていますが、社会で孤立した他者に「隣人として寄り添う」ためのヒントが、理屈としてではなくストーリーの中で生きた形で示されています。

たった一回の相談電話で、孤独に陥っている人と「魂の触れ合い」までするという事は現実的なことではありません。でも、少しでも近づこうとできる目標として、児童文学から学べることはたくさんあると感じています。

特集 「子供から繋ぐ ～いのちの手紙～」

浜松市精神保健福祉センター担当職員さんにインタビュー

センター副所長：鈴木多美さん

センター主任：小林美穂さん

浜松いのちの電話では浜松市の行っている手紙相談事業で選ばれた作品をラジオで紹介する際相談員が朗読をする活動を行っております。今回は担当されるお二人に手紙を通じ体感されたことなどをお聞きしました。

広報：事業の成り立ちを教えてください。

鈴木さん：もともと自殺対策の計画を浜松市で策定をする時、市民アンケートをとりまして、その中で「死にたいと思ったことがあるか」など調査項目がある中、アンケート用紙の自由記載欄に色々書いて下さる方が多く「手紙で気持ちを話せる場所を作ることも必要なのではないか」ということから始まりました。平成21年9月10日の世界自殺予防デーから始めています。

広報：この事業を続けられ、自殺予防に対する効果など、感じられることはありますか。

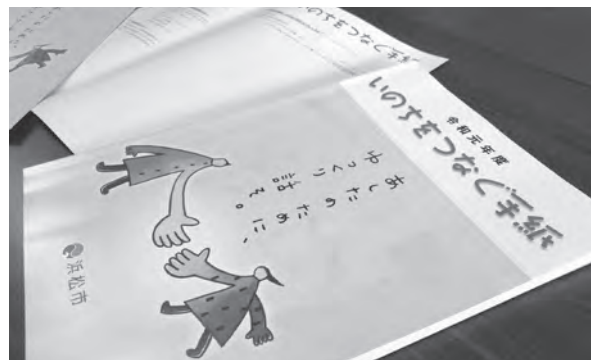
鈴木さん：効果というのはなかなか難しいと思うのですが“自殺対策”って言うてしまうと、やはり拒否感などお持ちの市民の方もいらっしゃる中で、この「いのちをつなぐ手紙」という冠をつけて色々な啓発事業を行うことで、皆さんの目に届きやすいものになっているかと思えます。

広報：小学生の手紙が多いですが、特に小学生にアプローチしているなどあるのでしょうか。

鈴木さん：今は小学校の五年生の方に夏休みに「いのちについて考えてみましょう」ということで、メッセージをお願いしています。出すのは宿題という形ではなくて自由意志で書いていただくことにしていますが、毎年多くのメッセージを寄せて頂いています。

広報：寄せられた手紙で放送されないものもありますか。

鈴木さん：令和元年の手紙ですが、寄せられたものは500通以上あります。冊子には寄せていただいたメッセージの中で「公開してもいいよ」と言ってくださった方のもの全てを載せています。ラジオにはこのいただいた手紙の中から、その日の担当職員が自分の気持ちに合っているもの共感するものを選んでいきます。内容が偏ってしまわないよう、いろんな角度で書かれたものをご紹介できるように、また多くの学校の児童さんのメッセージを紹介できるようにと職員の中で選んでいるというところもあります。



↑毎年作られる手紙の冊子

広報：月に何通ぐらいの手紙が寄せられるのでしょうか。

鈴木さん：手紙は最近少なくて、月に2～3通です。市民や一般の方からの手紙の公開は数通で、あとは皆小学生のメッセージになります。

広報：一般の方も送っていただけたらいいなという感じでしょうか。

鈴木さん：一般の方から送られてくるものもありますけれども、相談したいという内容のものだったり、メッセージとして公開できるものが少なかったりということがあります。結果、昨年も冊子へ掲載されたのはこの数通だけという感じです。もう少しメッセージとして寄せられるものもあるといいなとも思います。

広報：手紙以外の方法で「いのちをつなぐ手紙」へ応募することはできるのでしょうか。

鈴木さん：この専用便箋へ書いていただいて、無料で送っていただける封筒も一緒にしているので、基本的にはこれで送っていただくのですが、普通の便箋封筒で送られてくる方も中にはいらっしゃいます。



↑小学生が書いたポスター作品の一部

広報：手紙が浜松市精神保健福祉センターへ届いた後、どのように対応をされているのか教えてください。

鈴木さん：多くの手紙は冊子に載せさせていただきます。また本来の相談事業として、相談で返信が希望ということであれば、当職員が手紙を返事を書いてお送りすることもあります。

広報：深刻なメッセージや、緊急を要する内容があると思いますが、そのような時の対応された事例はありますか。

鈴木さん：主に小学生さんからのメッセージでいじめなど、少し心配になるようなメッセージはあります。その場合は教育委員会と他の事業を連携していますので、このようなメッセージがありましたということをお伝えして、教育委員会から対応していただく仕組みに最近なりました。

広報：私達は文章を読ませていただく中、書き手がどんな気持ちで書いたのか、書き手の考え方と読み手の解釈、ずれがあると怖いと思うことがあります。ラジオ放送後の反応で「そんな読まれ方されては困る」など意見が届くことはあるのでしょうか。

鈴木さん：それは聞いたことはないです。以前、ラジオを聞かれて「自分の子供がこんな文章を書くのだ」とすごく感激された親御さんはいらっしゃいました。多分作文としてのメッセージとして読んではいらっしゃるのでしょうけれど、耳から聞くということで、また違った印象を持たれる方もいるのだなと思いました。ある親御さんは「朗読された方が良かったからかもしれませんが」と言われていました。



↑小学生が書いたポスター作品の一部

広報：文章を選ばれる際に担当の職員の皆様は苦労されていることを教えていただけますか。

鈴木さん：職員で手分けして、校正作業をして読みやすくなるようにしています。中身は当然変えませんが、基本的にはそのままなのですが、どうしても繋がりが悪いところなどは手作業で一つ一つ読んでチェックをしています。そこはちょっとスタッフとしては大変かなと感じます。

広報：この事業を担当されたことで、職員の皆さんが「良かった、感動した」ことを教えてください。

小林さん：私が担当する以前にラジオで紹介されたメッセージで、私が担当するようになってからのことです。実はそのラジオを聞いた子から、そのメッセージに対する思いが書かれた作文が届いたので今度は、その時にはその作文をラジオで紹介しました。こうして繋がるのだ

なという実感があります。誰かが「いのちについて考えてみませんか」と提示し、それをきっかけに書いてくれた子、それを聞いた人、それについてまた考えてくれますか、それ自体にとっても感動しました。

鈴木さん：この事業に長く関わり、子供達の色々なメッセージがあるのですけれども、これだけ一生懸命考えてくれる時間を持ってきているということ自体がすごい大きいことだと思っています。書いた記憶は中学生、高校生になったら忘れてしまうのかもしれませんが、その時間は考えてくれているのです。そういうことを思うと、この事業を続けていて良かったと思います。

広報：今後の事業継続や形式変更の有無についてお聞かせください。

鈴木さん：当然継続は考えています。「SNSなど使わないのか」とよく聞かれるのですが、やはり人との関係は、基本リアルで会ってお話してその人の色々な表情を見たり、気持ちを感じたりのコミュニケーションがとても大事だと思っているので、浜松市精神保健福祉センターとしてはSNSなどの活用は考えていません。ただ、この手紙を機会に当センターに繋がるきっかけになることはありうるかもしれないと思っています。リアルを大切にしていきたいので、手紙には実際に自分の手で書いて頂いて、返信も、職員が手書きで書くという、アナログなことをできるだけやっていきたいと思っています。文章、活字になってしまうと、違うニュアンスのものもありますので。生の繋がりとというのは、できる限り大事にしたいなと思います。

インタビューを終えて

本当に「いのちをつなぐ手紙」は相手の心にメッセージを残しているのではないのでしょうか。今この時代だからこそアナログである手紙を用いて心が通じ合い、相手を思いやる優しい人間でありたいと痛感しました。担当の職員さんありがとうございました。（広報）

● 浜松市からのお知らせ ●

2021年3月7日（日）に自殺対策強化月間としてイベントを開催する予定です。イベント会場やお子さんが住まう地域図書館でポスターや手紙作品の展示を行うほか、3月に今年度の新しい冊子を一般市民の皆様にお配りする予定です。

例年は会場で手紙をかけたお子さんが自分の声で読むなど朗読会が行われていましたが、今年はコロナ禍の影響もあり、まだ確定はしていません。手紙の作品についてはホームページ上でもご覧になれます。

いのちをつなぐ手紙

いのちをつなぐ手紙



で検索

～WITHコロナ 感染防止をする中で～

今年新型コロナウイルス対策を行う中で、浜松いのちの電話として、どう活動していくかが課題となる毎日となりました。一旦落ち着くかと思われた新型コロナウイルスは秋から冬にかけて再び感染者数が増加しています。

昨年の受信との比較
コロナ/フリーダイヤルの受信件数

	2019年	2020年	コロナ 関連	FD ダイヤル	ナビ ダイヤル
1月	1,032	987	0	39	116
2月	943	960	18	36	111
3月	1,068	992	55	39	94
4月	1,064	581	47	44	53
5月	964	休 止			
6月	1,062	547	65	26	66
7月	1,018	688	93	214	53
8月	1,052	691	94	208	63
9月	991	871	43	114	128
10月	968	917	48	112	165

※FDダイヤルは毎日フリーダイヤルと自殺予防ダイヤルの合計

共に歩む今

浜松いのちの電話でのコロナ関連の相談は2月から増え始めました。そのような中、緊急事態宣言を受け、4月19日から5月31日迄の43日間、電話相談を休止する判断をいたしました。365日受信をスタートさせた2001年以来、長期休止は初めての経験です。

感染リスクを回避しながら6月から1回線での活動を再開し、7月末に電話相談室の換気扇追加取付工事を完了して、8月から通常の体制に戻りました。

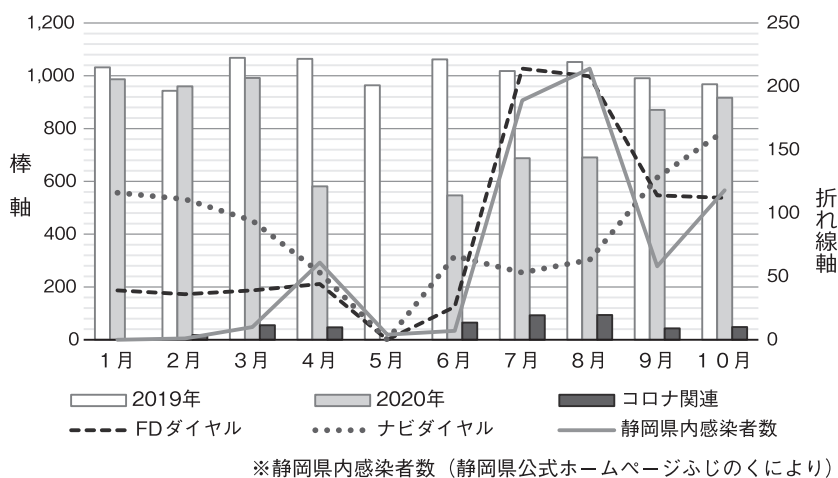
相談室の環境は整ったものの相談員や家族の健康、そして勤務先への考慮を行いながらの電話相談活動の難しさを感じたまま、今新しい年を迎えようとしています。通常の生活に制約がある中、電話で話を聞いて貰いたいという要望は絶えません。

生の声

相談者の思いは当初予測できない感染への不安から始まりました。

マスク越し・電話越しで相手の表情・感情がくみ取ることができずに悩む人、初めてのオンラインの診療・チャット・ミーティングに慣れず違和感を拭えない人、職場に不満があり転職を考えているが我慢をしている人、「コロナ」という言葉に疲れてしまった人と様々な声が聞こえてきます。

月別受信状況（件）



寄り添う為に

いのちの電話はコロナと共に新しい生活をする中、相談電話活動を維持継続することを求められています。今年是有名人の訃報が続いたこともあり、深刻な訴えや自殺に関連する相談を多く感じています。

困難や危機にあって、誰ひとり相談する人もなく、自殺や精神的危機に追い込まれる人たちが、再び生きる希望を見出すことを願いつつ、相談員は今日も電話を取り続けます。

浜松いのちの電話では、今年も10月から12月までの間電話相談ボランティアを募集受付しております。あなたの声を電話を通じて必要とする人たちがいます。参加お待ちしております。



浜松いのちの電話のために温かいご支援・ご協力ありがとうございました。
心から感謝し、ご報告いたします。

(令和2年4月～令和2年10月) 敬称略

★会費・寄付(個人)

天城 芳子	笠原 桂子	小杉 浩造	鈴木みつ子	中村由紀子	半田 和子	村瀬 静子
天沼えり子	梶 富美子	小林 眞	鈴木美奈子	中村 弘江	藤崎 保子	村田美津子
天野富士子	梶浦由喜子	小林 純一	曾布川能康	中村 修三	藤原とし子	村松 真弓
天野 光江	片橋 清枝	子安 崇雄	田内 浩之	中村 道子	藤本 正勝	森永美智子
新井 友子	片山 明子	古山 清子	高平 啓子	中村美保子	古川 道子	柳原 とも
池田 佳世	加藤 敏行	西條 晃代	竹内百々枝	仲村 重子	堀江ひろみ	山内由美子
石川 道子	川合喜實子	酒井二三子	竹内 祐子	名倉 恒夫	本城かほる	山田 孝代
石澤 章二	河合 利行	佐藤 和彦	竹下美智子	成田喜代司	本間恵美子	山中 均
磯部 隆	河合 道子	佐藤 三郎	竹中あかり	忍頂寺千恵子	前川 幹恵	山本 章子
伊藤 力示	河合めぐみ	佐野 康代	田中やす子	野島 敦子	前田由里子	山本 周子
今村 順子	河合ゆかり	柴田 睦子	土屋みち子	野島三重子	増田 辰男	山本 敏博
大場 義貴	川畑 生日	杉本 節子	堤 ふみ子	野藤 弘幸	松井起己子	横田美佐江
大森 幸恵	川俣真理子	鈴木 新	津幡 佳伸	野村 容子	松井 常光	吉崎 敬次
岡崎 一雄	河村 良枝	鈴木 一夫	角替 清美	袴田 修司	松尾 哲道	力武由紀子
岡本 肇	河村 安代	鈴木 啓一	寺田佐千代	袴田 純	松竹八重子	割鞘健太郎
小栗 恭子	木下 艶子	鈴木 啓介	遠山千代子	萩田 妙子	松永 正之	匿名 5 件
小澤きくよ	桐谷 啓子	鈴木 順子	長沢 敦子	林 豊子	松原 裕江	
落合 悦子	久保田進吾	鈴木 登紀子	中根 忠志	林 角次	三浦佐津子	
影山 正子	黒柳 朋子	鈴木 利育	中根みづほ	原田 貴之	溝口賢一郎	

★寄付(法人・団体)

エーデルワイスの会	天星製油(株)	(株)ソルエナジー
生命保険協会 静岡県協会	藤井マタニティクリニック	浜松ロータリークラブ
聖隷福祉事業団	大庭歯科医院	浜松北ロータリークラブ

☆ご協力者

(有)あかまつプラザ36	オーム電機(株)	茶ツ葉屋	マックスバリュ浜松住吉店
イオン浜松西店	国立大学法人 静岡大学	日管(株)	(有)丸文
遠州鉄道(株)	シネマイーラ	浜松エフエム放送(株)	(有)ミネボー
(株)遠鉄ストア	聖隷福祉事業団	光タクシー(株)	森島園製茶
遠州栄光教会 (住吉)	大本山方広寺	ブラジルふれあい会	ラ・コリーヌ
			理想科学工業(株)浜松支店

※万が一お名前に誤り、記入漏れがございましたら事務局までご一報ください。

*掲載いたしました個人名は、個人情報保護法に基づき、責任もって管理いたします。
掲載を希望されない方は、事務局までお知らせください。

◆◆◆◆◆♥ いのちの電話に皆さまのご支援を ♥◆◆◆◆

1 維持会員 (下記AまたはBの額を毎年支払って下さる方。Cの額を毎月支払うことも可。)
(1)個人 A10,000円 B 5,000円 C1,000円 (2)団体法人 A50,000円 B30,000円

2 賛助会員・一般寄付 随意

浜松いのちの電話は社会福祉法人として認可されております。
平成24年11月に浜松市より寄付金の税額控除法人に認定されました。
当団体に対する寄付金については下記のいずれか有利な方を選択できます。

1. 所得控除	(所得額－所得控除) × 税率
2. 税額控除	税額－税額控除額

*ほとんどの場合「2. 税額控除」の方が減税効果が大きくなります。
詳細は、申告の際、税務署にお問合わせ下さい。

「相談員は無理だけど、何かできることはないかな。」とお考えのあなた。資金ボランティアとして、ご参加いただけませんか。

3 振込先

口座名 社会福祉法人 浜松いのちの電話
郵便振替 口座番号 00800-2-53944

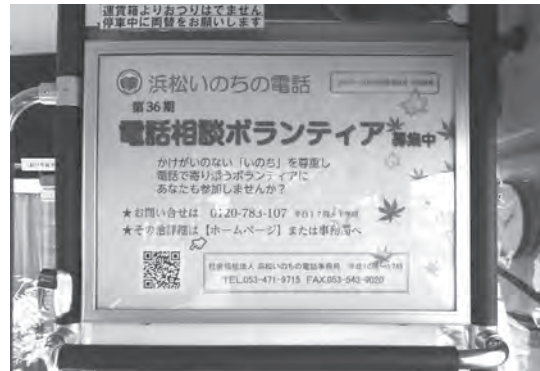
*郵便振替手数料は無料です。
銀行振込も可能です。
事務局にお問い合わせ下さい。

● 第36期電話相談ボランティアを募集しています ●

同養成研修の開講は2021年4月から行います。
募集要項はホームページからダウンロードまたは
浜松いのちの電話事務局にお問い合わせください。

▼11・12月 遠州鉄道(株)バス車内に広告を掲出しました。
(浜松市・湖西市のエリア)

- 第36期募集人員 30名
- 応募資格 20歳以上(職業・経験不問)
- 応募受付期間 2020年12月31日(木)迄
- 養成講座(研修期間) 2021年4月~2022年9月
(1年6か月)
- 養成講座会場... 浜松市中区内(公共交通機関利用可)
- 養成講座受講料 30,000円(学生半額割引あり)
その他詳細は、募集要項をご参照ください。



「浜松いのちの電話」活動報告

2020.7~2020.12

7月20日	運営委員会
8月16日	第4回感染防止対策会議
8月17日	夏期「中高生対象フリーダイヤル」受信
~9月4日	
9月1日	通常運営の電話相談開始
9月14日	運営委員会
10月20日	第5回感染防止対策会議
11月9日	運営委員会
11月21日	第35期電話相談員 基礎研修(浜松市内)
~23日	

「浜松いのちの電話」活動予定

2021.1~2021.6

1月14日	第35期生インターン研修
1月18日	運営委員会
2月15日	臨時運営委員会
3月4日	理事会
3月24日	定時評議員会
4月	第36期生養成講座 開講式
5月	運営委員会
5月22日	納涼チャリティ寄席



チャリティ映画会

10月30日(金)~11月26日(木) シネマイーラさん
のご協力のもと開催いたしました。コロナ禍の中では
ありますが、期間中上演される作品の中から自由に選
んで鑑賞でき好評でした。多くのご協力ありがとうござ
いました。

赤い羽根共同募金



今年も静岡県共同募金会様より研修事
業助成金として140万円、使途選択募
金助成金として202,860円をいた
だきました。大切な募金は有効に活用さ
せていただきます。
ありがとうございました。

イオンの黄色いレシートキャンペーン

イオンの「ボランティア活動支援事業」に参加していま
す。対象は全国のイオンとマックスバリュの各店舗です。
毎月11日の黄色いレシートを「浜松いのちの電話」の
ケースに入れて頂けると、購入代金の1%相当が還元さ
れます。

編集後記

コロナ禍の中で人とのつながりを維持し心を休めること
が難しいと感じながらも、日々電話相談へ向かう相談員
の背中を見つめ、みなさまへこの活動が伝わるようにと
考えています。書面で伝える大切さを改めて感じます。
広報委員

LINHA da VIDA HAMAMATSU

外国語相談 080-3068-0333
(ポルトガル語) <What'sApp>
毎週金曜日 19:30~21:30

Todas sextas-feiras das 19:30 às 21:30 horas

相談電話

053-473-6222

日~火・祝 10:00~22:00
水~土 10:00~24:00
第2・4土曜日 24時間

社会福祉法人
浜松いのちの電話事務局



浜松郵便局私書箱 125号 TEL (053) 471-9715
FAX (053) 543-9020

発行人・福永博文 編集・広報委員会
浜松いのちの電話 検索